

四	三	二	一	行	平	省	○
發	用振	の法	發号	名	成件	二	財務
行	等替	條律	行稱		二等	三十	國債
方	法	項及	之	及	十	十四	省告
法	の	び根	び	四次	年	行示	
	適	そ拠	記	年	七	等第	

五

方 募

六
イ
発

価入価・別債行争非者特国札非
格行札格第参市及入価・別債発競
競発競II加場び札格第参市行争
争額行争非者特国發競I加場入
入価法入

額面金額で二兆四千九百十二億
込募各割各當も各申込みの度當込る。らみの應額市てみの募の場るの額範特。應額を圍別募額を割内參額をりに加者案分を當お者案分していごとに順格るてとに次割。各の申応により割り

七

口イ
払

非入価込	行争非者特国行争非者特国	札非	入
競札格金	入価・別債入価・別債	発競	札
争発競金	札格第参市札格第参市	行争	發
入行争額	発競Ⅱ加場	発競Ⅰ加場	行

二五二	でた条特	でた条特でた条特億いに、兆国項計四つ定う円
十千兆	二利第別	二利第別二利第別九て基同三債のに億いにち
八円四	千付一會	千付一會十付一會千はづ法千に規関九て基、
億千	五国項計	四国項計八国項計九、き第七つ定す千はづ財
八九	百債のに	十債のに億債のに百額発六百いにる九、き政
千百	三に規關	九に規關八に規關八面行十三て基法百額發法
八百	十つ定す	億つ定す千つ定す十金し二十はづ律九面行第
十二	八いにる	円いにる八いにる五額た条七、き第十金し四
百万	億て基法	て基法百て基法万で利第億額發四万額た条
円四	円、づ律	、づ律万、づ律円七付一二面行十円で利第
百	額き第	額き第円額き第百国項十金し六、三付一
十	面發四	面發四面發四九債の五額た条特百国項
十三	金行十	金行十金行十に規万で利第別七債の
万	額し六	額し六額し六九つ定円二付一會十に規

十	九	八		
口	イ	一	二	ハ
發	振	額	最	
別債行争非者特国札非入価發	替	低	行争非者特国行争非者特国札	
参市及入価・別債發競札格行行	額	入	入価・別債	入価・別債發
加場び札格第参市行争發競価	単	面	札格第参市	札格第参市行
者特国發競I加場、入行争格日	位	金	發競II加場	發競I加場
額そ額	平す額の振	五		二
面れ面	成るの記替	万		千
金ぞ金	二。整載法	円		四
額れ額	十 数又の			十九
百の百	四 倍は規			億
円応円	年 の記定			円
に募に	七 金録に			
つ価つ	月 額はよ			
き格き	十 に、る			
百百	七 よ最振			
円円	日 る低替			
以	も額口			
上	の面座			
の	と金簿			

規下は期た期平
定、が金と成額け住よるがをじ額よに座も係
す次そ銀額し二)を
る号の行を、十控除する
期及翌休支次五
日び営業払の年
に第業う算一
つ十日。式月
い六ににたに十
て号支當だよ五
同に払たしり日
じおうる、算を
。いへと支出支
。て以き払し払

(二)

$$\frac{\text{額面金額の総額} \times 0.1}{100} \times \frac{2}{365}$$

 む十式は○
 も号に、募。
 のにより払入一
 と規り込決バ
 す定期算定一
 るす出額のセ
 るしに通ン
 期た加知ト
 日金えを
 に額、受
 払を次け
 い第のた
 込二算者

の経利入価・
 払過札格第
 込利發競Ⅱ
 み子率行争非

二 十 十 十 十
十 九 八 七 六 五

払者入払元償償 後第
込札場利還還 の二
期 参所金金期 利期
日 加支額限 子以

平 財 日額平利てを毎
成 務 本面成子、支年
二 大 銀金二をそ払一
十 臣 行額十支の期月
四 か 百六払日と十
年 ら 円年う以し五
七 通 に七。前、日
月 知 つ月六各及
十 を き十月支び
七 受 百五間払七
日 け 円日に期月
た 者 属に十
す お 五
る い 日

額面金額× $\frac{0.1}{100} \times \frac{1}{2}$